

新庁舎建設だより③

新庁舎の位置が

イトーヨーカドー土浦店跡に

決定しました

昨年12月に開催された第4回市議会定例会で、新しい市役所の位置を定める条例が可決され、大和町9番1号「イトーヨーカドー土浦店跡」への移転が決定しました。

現在の市役所は、昭和38年に建てられたもので、半世紀を経て駅前を中心市街地へ移転することになります。新庁舎は、市民の皆さんの利便性の向上はもとより、中心市街地活性化の中核施設として、にぎわいづくりの役目を果たすために、市民スペースや商業施設を導入します。オープンは、平成27年を予定しています。

図 政策企画課新庁舎建設準備室

(☎ 826・11111 内線2202)



50年間市政の要であった
下高津一目の現庁舎

日本一住みやすいまち土浦をめざして

基本計画の概要 ～9つのキーワード～

基本計画は、これから新庁舎を設計するために必要な基本的な考え方をまとめるものです。これまで、さまざまな機会に市民の皆さんからお寄せいただいた意見や提案を取り入れながら、新庁舎に備える数々の機能について検討を進めています。



新しい市役所

中心市街地活性化

土浦駅前という立地、アクセス性の高さを活かし、まちのシンボルとなり、中心市街地の活性化に役立つ庁舎を目指します。

市民生活の利便性・快適性

窓口サービスの向上を図り、市民が気軽に利用できる交流スペースの整備など、市民が快適に利用しやすい庁舎を目指します。

だれにでも使いやすい

ユニバーサルデザインを取り入れ、分かりやすい窓口の配置など、だれにでも使いやすい庁舎を目指します。



安心で安全な市民生活

耐震性に優れ、災害に強く、安心で安全な市民生活を提供できる、防災機能の充実した庁舎を目指します。

環境にやさしい

自然エネルギーの利用、省エネルギーなど、環境負荷の低減を図り、環境にやさしい庁舎を目指します。

長い間使い続けられる

維持管理・保守が容易で、業務環境の変化に柔軟に対応でき、環境負荷および財政負担を低減する持続性の高い庁舎を目指します。

効率的で職員が働きやすい

職員が効率的に執務を行い、質の高い市民サービスを提供できる庁舎を目指します。

市民に開かれた議会

議場をわかりやすい位置に配置し、傍聴席、ロビーなど市民スペースを充実させた、開かれた議会活動が行える庁舎を目指します。

駐輪場・駐車場の整備

地下駐輪場、立体駐車場などを利用し、十分な駐車台数を確保し、来庁者の利用しやすい庁舎を目指します。

計画の推進に向けて ～今後の取り組みと事業スケジュール～

主な事業内容	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
基本構想・計画				
基本・実施設計				
改修工事				
庁舎移転				5月移転予定

